

団体名	神戸親和女子大学福祉臨床学科戸田・深澤ゼミ
活動テーマ	福島原発事故により被災した子どもたち、母親への支援活動



福島の子どもたちは、自由に遊ぶ時間が少ない。それは、仮設住宅の目の前に学校があってもその学校に通学するのではなく、スクールバスで片道 50 分もの通学時間を必要とする学校への通学が余儀なくされている。子どもは身体を動かすことが大切な時期に通学に時間を要していることは健康面でも不安を残す。私達のはじめて福島の子どもたちに会った時に感じたことは、肥満体質の子どもの多いことに驚いた。もちろん、運動不足もあり、ストレスもあることを感じたものである。そうした時に子どもと一緒に遊んだり、学習をしたりする支援が必要である。同時に子どもたちの居場所の必要性を強く感じるものである。

実際に子どもたちとかかわることで、信頼関係が生まれ、学校での出来事、家のこと、自分の悩みなども少しずつであるが話してくれるようになっていった。このようなことも活動での大きな成果の一つではないだろうか。どんなことも気軽に話せる大学生の存在が子どもたちにとって欠かせない役割を果たしたと考えられる。